

今年は例年より20日も早い梅雨入りとなりましたね。じめじめして暑い季節です。部屋の中で読書をするときも、熱中症対策をしましょう。感染症予防のために、読書の前後の手洗いも忘れずに！



夏の予告

7月中旬
予定

児童向け

7月下旬頃～
予定

3階展示コーナー

企画展示

夏休みの課題に役立つ本特集

過去の課題図書や調べ学習に役立つ本を
展示します。

8月上旬頃～
予定

3階展示コーナー

本の福袋

児童書3冊セットの「本の福袋」を貸出
します。思いがけない本との出会いを楽
しんでください。

4階スカイフォーラムが リニューアル！

文化フォーラム春日井の改修工事がいよいよ
終了し、スカイフォーラムがリニューアル
オープンします。新しい憩いの場を楽しんで
ください。

7/21（水）～8/31（火）の 夏休み期間は 毎日開館します

小中学校の夏休み期間は月曜日も開館します。
（グループふじとう図書館、各公民館・ふれあい
センターの図書室は、通常どおりの休館日です。）

※新型コロナウイルスの感染拡大状況等により、
予定が変更になる場合があります。

感染症対策に ご理解、ご協力をお願いします

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況により、図書館・図書室の開館状況やサービスの内容等
が変更になる場合があります。変更の場合は、ホームページ等でお知らせします。
ご迷惑をおかけしますが、ご理解、ご協力くださいますよう、お願いいたします。

春日井市図書館 電話：(0568)85-6800

〒486-0844 愛知県春日井市鳥居松町5丁目44番地 文化フォーラム春日井 3・4階

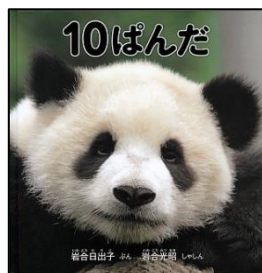
開館時間：午前9時～午後8時 休館日：月曜日（休日の場合はその直後の休日でない日）

おすすめ本紹介

パンダ

今年12月末までに中国に帰ってしまう予定の、上野動物園の赤ちゃんパンダ「シャンシャン」。とても愛くるしい姿で、人気を博しています。

人間からすると、ちょっと怖いクマの仲間になるパンダですが、なぜ私たちの心を強く惹きつけるのでしょうか。その答えがわかるかもしれない3冊の本を紹介します。



『10ぱんだ』

岩合 日出子/ぶん 岩合 光昭/しゃしん 福音館書店

E/フク/16-22 (図書館児童/坂下)

表紙・裏表紙からして、可愛いパンダの写真絵本。1頭だけでも可愛いパンダが、ページをめくるたびに増えていきます。ひなたぼっこやおしくらまんじゅうをしている様子にほっこり癒されますが、特に最後の赤ちゃんパンダ登場で思わずもだえてしまうこと間違いなし！

リズムカルな文章と素敵なパンダ写真で構成されているので、大人も子どもも楽しむことができます。

『読むパンダ』

黒柳 徹子/選 日本ペンクラブ/編 白水社

489.5/ヨ/17 (図書館4階一般/ふじとう/南部)

前半はパンダファンである作家の浅田次郎さん、アニメーション映画監督の高畑勲さんなどのエッセイ、後半はパンダに携わる専門家による試行錯誤しながらの飼育話や、亡骸を解剖することによりパンダの秘密に迫るエピソードなど、とても興味深い内容が詰まっています。中でも、四川大地震で自分たちも危険な状況に置かれながらも、パンダの救出に奔走する飼育員さんのお話は、パンダに対する深い愛情を感じます。パンダ好きにはぜひ読んでほしい一冊です。



『パンダ飼育係』

阿部 展子/著 KADOKAWA (所蔵本の表記は角川書店)

489.5/ハ/13 (図書館4階一般)

子どもの頃におばあさんからもらったぬいぐるみがきっかけでパンダ好きになった少女が、パンダに関わる仕事に就くために中国語を習得し、パンダの勉強のために単身で中国に乗り込むその行動力に圧倒されます。そんな阿部さんが自分の体験を通して語ってくれるパンダの生態や魅力は、どれもとても興味深いものばかり。

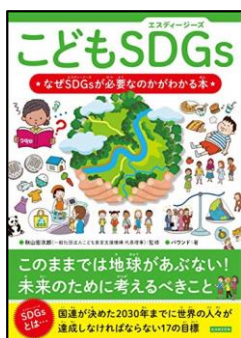
この本を読み終わる頃には、阿部さんから元気を分けてもらえて、パンダに会いに行きたくなります。

おすすめ本紹介

今のこと、これからのこと、考えてみませんか？

楽しい夏休み、いつもの年ならウキウキ・ワクワクなのに…。思わぬ病気の流行、異常気象、地震、テロや戦争など、地球は大変な状況です。

旅行もままならない今日この頃、今私たちにできることを考えてみませんか？入門編として簡潔でわかりやすい児童書を紹介します。



『こどもSDGs』

秋山 宏二郎/監修 バウンド/著 カンゼン

33/コ/20 (図書館3階児童)

世界共通の目標SDGsって？ 持続可能な開発目標って？？
17の目標って？？

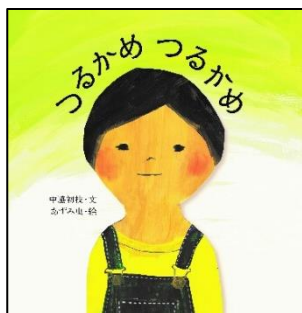
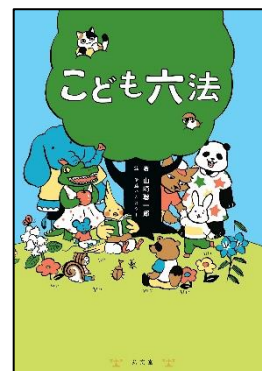
まずはこの一冊で“なぜ今SDGs”なのかを知り、地球上のさまざまな問題・課題を解決し暮らしやすい世界にするために、今何ができるか考え、未来のために行動を起こしませんか。

『こども六法』

山崎 聡一郎/著 弘文堂

32/コ/19 (図書館3階児童/グルッポふじとう/高蔵寺)

子どもを守るために書かれた法律の本です。子どもに関係のある法律が中心ですが、難解な法律用語もわかりやすく楽しく読めます。法律は大人も子どもも守らなければいけないみんなのルールです。法律を学んで、自分や他人の権利を守り人権を尊重し健やかな日々を過ごしたいですね。



『つるかめつるかめ』

中脇 初枝/文 あずみ虫/絵 あすなる書房

E/アス/20-20 (図書館3階児童/坂下/知多)

昔から伝わる“おまじない”の言葉の絵本です。自分ではどうしようもない事に遭遇したら、“おまじない”を声に出して唱えてみませんか？

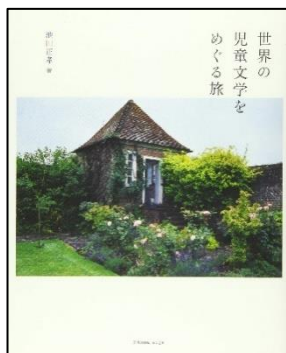
新しい生活スタイルになかなかなじめず、地震や未知の病気の流行が怖かったり心配だったり。そんな時“おまじない”がきっとあなたに勇気をくれるでしょう。

あしたもいい日になりますように！

おすすめ本紹介

物語の世界を旅しよう

なかなか旅行に行きづらい今の世の中。国内はおろか、海外に行ける日はいつになるかと思っ
ている方もいるでしょう。外に出かけなくても、本を読むと自分の世界が広がります。ステイホーム
の今、本で物語の舞台に行ってみましょう。



『世界の児童文学をめぐる旅』

池田 正孝/著 エクスナレッジ 909.3/セ/20 (図書館 4 階一般)

「不思議の国のアリス」「ハイジ」などバリエーション豊かな物語の舞台を
めぐります。その中から「クマのプーさん」を紹介しします。ディズニーアニメー
ションにもなっているので、ファンも多いのでは。「クマのプーさん」は、プーさ
んとクリストファーの温かい友情にほっこりし、プーさんと仲間達の日々の事件
にハラハラしたりドキドキしたりする物語。しかし、その名声によって、作者の
ミルンと息子のクリストファーは、本のイメージを押し付けられ、なかなか思うような人生を送れなかつ
たとか。そんなことを知るとイギリスの風景が物悲しく見えてくるから不思議です。

『赤毛のアンの島へ』

吉村 和敏/写真 山内 史子/文 MOE編集部/編 白泉社
933.7/ア/13 (図書館 4 階一般)

赤毛のアンの舞台、カナダのプリンス・エドワード島を旅しましょう。アンが空
想するのも分かるほど、きれいな景色です。そういえば、アンは美しい景色に自分
なりの名前をつけていました。「輝く湖水」「歓喜の白路」なんて思いつかないです
よね。作者、L・M・モンゴメリは小さい頃に母を亡くし、母方の祖父母と暮らして
いたそうです。その経験が、執筆のヒントになったのかもしれませんが。実は赤毛のアンは全 9 巻にもなるシ
リーズなんです。空想にひたるのが好きな女の子がどう成長していくのか、ぜひ続きを読んでみてください。



『ハリー・ポッターへの旅』

MOE編集部/著 山内 史子/著 白泉社
933.7/ハ/11 (図書館 4 階一般)

ハリー・ポッターの舞台、イギリスを旅しましょう。まず普通に駅に行くだけで、
もう物語の中。あとはビックベンなど定番の観光スポットを回るだけ。余裕があれば、
田舎に足をのばしてホグワーツ城を探してみましょう。

コロナの感染状況が落ち着いたら、大阪のテーマパークになら行けそうです。ステイホーム中は、映画
を観てから原作、原作を読んでから映画を観るのもいいですね。